

令和7年11月28日

令和7年度 第2回 大阪市立木川南小学校 学校協議会 実施報告書

大阪市立木川南小学校
校長名 池田 健一

日 時	令和7年11月27日（木） 19時00分～20時00分	
場 所	大阪市立木川南小学校 会議室	
出席者	委員 など	<委 員> 種村慶太、笠松剛、金光秀人、山本隆章、永井民余子、金溪清代、里田維乃 <傍 聴 者> なし
	校 園	池田 健一（校長） 新 宏隆（教頭）
	区役所	田中課長
議 題	○令和7年度「運営に関する計画」中間評価について	
協議 要旨	協議の結果	意見の概要
	・「運営に関する計画」中間評価について、資料等に基づいて、説明後、全会一致で承認	案件審議 【主な意見】・は委員 ⇒は返答 (1) 令和7年度「運営に関する計画」について ・特別支援学級在籍する児童はどのような割合で個別に学習しているのか。 ⇒教科と児童の特性によって違うが、個別に学習する教科は国語、算数が多い。 ・図書室にある本は児童からのリクエストで選んでいるのか。 ⇒学級担任が選んだり、図書館の司書が人気の作品を選んだりしている。児童が興味をもって読むことができるようにはしている。 ・学習者用端末を持ち帰って意味があるのか。荷物が重たくなっているのでは。 ⇒ランドセルに入れた登下校するように指導をしている。家庭に持って帰ることで連絡帳の確認ができるように全学年で統一し、家庭学習ができるように系統を整えていく。 ・「時間外勤務時間」について昨年度より減少傾向にある。何か努力をしているのか。 ⇒教職員一人ひとりが18時までに帰宅できるよう業務を行う習慣がついてきて、意識改革が進んでいる結果である。 ・図書の本の貸し出し冊数は目標値を達成するのは現状の休み時間では難しいのではないかと。 ⇒本校の目標値は昨年の実績と比較しても高いものではない。授業時間に図書の時間を確保することができ、読書をする時間は確保できている。更に啓発できるような取り組みを考案していく。
協議資料	・令和7年度「運営に関する計画」中間評価・全国学力・学習状況調査の結果から明らかになった現状・教員の時間外勤務時間の状況・学習者用端末 月間活用率表	
備考		